【実施区域・面積】

新潟県、3.5ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、二次草原・草地、水田、低層湿原・湿地

【実施区域の状況】

本サイトは、新潟県柏崎市の沿岸部（標高約20m）に位置し、二次林・水田といった里地里山の環境が形成されている。公園西部の谷部に浸みだした水により止水域が形成され、クロサンショウウオの生息も確認されている。
また、本サイトは都市公園として市民の憩いの場として活用されており、様々な環境教育プログラムの提供や市民ボランティアによる森づくり活動実施の場としても利用されている。

【目標】

本サイトが有する生物多様性の価値や自然環境を維持することで、自然との共生を考える場を提供していくことを基本コンセプトとし、市民との協働のもと、 里山の復元やさらに新たな循環の仕組みを提案できるような公園づくりを目指す。

【主な活動内容】

里山林では、林床に太陽光が当たりやすい環境を維持する・風が通る環境を維持する。人工林、二次草原・草地、湿地では、現在生息生育が確認されている希少な動植物種の生息生育環境を保全する。水田では、サシバのエサとなるドジョウやカエルの生息環境、またそうした小動物の餌となるような生物たちも合わせて保全する。

【モニタリング計画】

鳥類、両生類、昆虫類、魚類、植物を対象として、二次草原ゾーンと里山林ゾーン：それぞれ任意のルートを設定、水田ゾーン：エリア全域（田んぼと合わせ連続する水路も含む） 人工林および湿地ゾーン：クロサンショウウオやモリアオガエルが生息する湿地とその周辺にて実施。二次草原、湿地ゾーンついては、対象種の生態に応じて、水田ゾーンは稲作施業日に合わせて実施。里山林ゾーンは毎月1回実施。

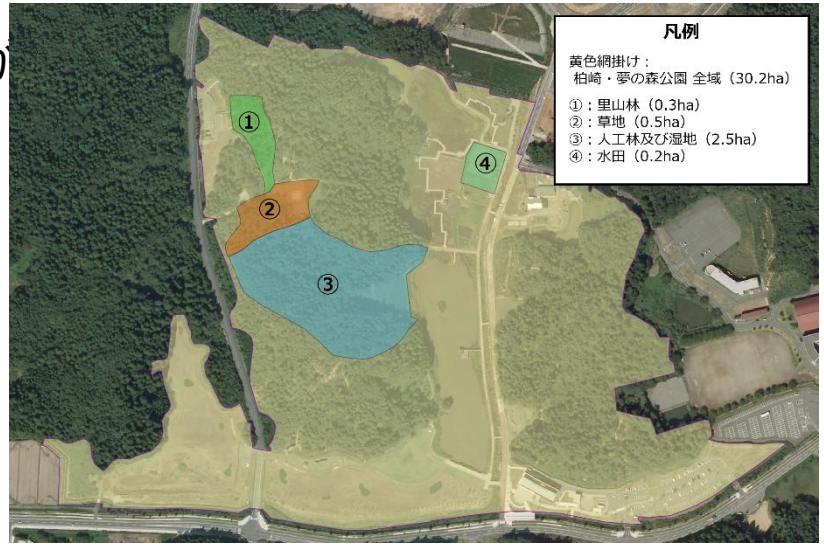
【実施体制】

柏崎・夢の森公園のスタッフが中心となり、関係団体も含める形で実施を検討。種同定や順応的な管理の方法については、柏崎・夢の森公園市民活動運営会議等に適宜助言をいただく。



真

活動内容が



【計画期間】

令和8年3月～令和13年3月